まちづくり交付金 フォローアップ報告書 福岡都心部地区

平成21年3月

福岡県福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡都心部地区						
計画期間	平成17年度 ~ 平成19年度	まちづくり交付金交付期間	平成17年度 ~ 平成19年度								
モニタリング実施時期		事後評価実施時期	平成19年4月~平成20年1月	フォローアップ実施時期	平成20年7年~平成20年10月						
○街路(桜坂桧原線外1線、博多駅六本松線) ○首路(古道工供会房館、古道警用会房館、古道書板206,025館)											

										-			
	1)事業の実施状況	当初計画どれ	おり実施した事業	○街路(桜坂桧原線外1線、博多駅六本松線) ○道路(市道千代今宿線、市道警固今泉線、市道赤坂826・835線) ○地域創造支援事業(自転車対策事業、天神社会実験、ピンクチラシ・不法看板等除去、ストリートパフォーマンス) ○事業活用調査									
1			ら変更した事業 した内容)	 ○道路(街路:2件→4件 延長=1,600m→2,305m、道路:4件→11件 延長=1,705m→2,807m) ○地域生活基盤施設(自転車駐車場、都市サイン、路面冠水標示システム) ○高次都市施設(公民館:0→2ヶ所) ○土地区画整理事業(渡辺通駅北地区:0ha→2.5ha) ○地域創造支援事業(5件→13件 ※まちめぐりナビゲーション、地図案内サイン等) ◇事業の追加に伴い、区域を拡大(598ha→985ha) 									
			由、目標・数値指 の影響等	○道路、地域生活基盤施設、高次都市施設、土地区画整理事業: 都市再生整備計画策定後に具体化し、計画の目標に整合した事業を追加・変更(目標・数値指標への影響はなし) ○地域創造支援事業: 前年度の社会実験等の結果を受けた本格的な事業実施への転換による事業の追加や、都市再生整備計画策定後に具体化し、計画の目標に整合した事業を追加・変更 (目標・数値指標への影響はなし)									
				指標			達成度			みの有無	効果発現要因		
				担保	単位	エニタリン	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見		
	2)都市再生整備計画に 記載した数値目標の 達成状況	指標1	自転車放置率(天神)	%		0	0			自転車駐車場の整備、自転車利用に関するモラル改善等への取り 組みにより、放置自転車率が減少した。		
2		1日1示	自転車放置率(博多駅周辺)	%		Δ	0	•		博多駅改修工事の影響による駐輪容量の減少を放置台数から差 し引くと、十分に目標値を達成することが見込まれる。		
		指標2	主要地点の歩行	亍者数	人		0				歩道の整備やバリアフリー化、天神での継続的なイベント開催等の 取り組みにより、歩行者数が増加した。		
		指標3	「歩くのが楽しい	街」と感じる来街者の割合	%		Δ		•		歩道のパリアフリー化や放置自転車の削減、イベントやストリートパフォーマンス等の取り組みから、「歩くのが楽しい街」としての印象が向上した。		
		指標4	都市の美しさ評価	価(福岡の都市景観)	%		Δ	Δ		•	若干の改善は認められたが、都心部の取り組みによる効果が現れ にくいために未達成となっている。		
9	3)その他の数値指標			指標		1	É前値		数值		効果発現要因		
	(当初設定した数値			1日1示		İ	基準年度	モニタリンク゛	事後評価	フォローアップ゜	総合所見		
	目標以外の指標)に よる効果発現状況			街がきれいになったと感じる人の割合 美しさ評価の代替)	%	_	_		63		ピンクチラシや不法看板の撤去等の取り組みに対する市民の評価 も高く、都心部の街がきれいになったと感じる人の割合が増加した。		
4)定量的に表現できない 定性的な効果発現 状況	・天神ピクニックやストリートパフォーマンス等のにぎわいを演出する取り組みにより、都心部の新たな楽しみが創出され、来街者に対する街の魅力が向上した。 ・まちづくり活動を行う組織の設立により、市民のまちづくりに対する意識が向上した。											
		評	価項目	実施内容		実施状況					今後の対応方針等		
	5)実施過程の評価	モニ	タリング	自転車放置率の調査を実施		予定していなかったが実施した					今後も同様に継続していきたい。		
5		住民参	加プロセス	ロセス 公民館・老人いこいの家複合施設整備に 伴い建設準備委員会を開催		予定したが実施しなかった・できなかった					今後も同様に継続していきたい。		
		持続的	なまちづくり	都心部まちづくりに取り組む活動組織の構築 (We Love 天神協議会、博多駅地区まちづく り推進組織準備会、博多の水辺協議会準備 会)	ove 天神協議会、博多駅地区まちづく 組織準備会、博多の水辺協議会準備				^{多駅地区まちづくり} の水辺協議 いった		今後も同様に継続していきたい。		

様式2-2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

福岡都心部地区(福岡県福岡市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標

「おもてなしの都市・福岡」にふさわしい快 適で魅力あふれる都心づくり

まちづくり交付金の 代表的成果

自転車放置率(天神) (単	单位:%)	69%(H13) → 66%(H14) → 14%(H19)
主要地点の歩行者数 (単	单位:人)	-(H13) → 63,223人(H16) → 69,328人(H19)
「歩くのが楽しい街」と感じる人の割合(単	単位:%)	$-(H13) \rightarrow 46\% (H16) \rightarrow 55\% (H19)$



都市機能の集積と充実・強化を図る事業

■道路事業



桜坂桧原線の整備

■都市サイン



■路面冠水標示システム など i

交流拠点都市にふさわしい都心部のにぎわいや魅力を引き出す事業

■道路事業



薬院駅前の歩道整備

■ストリートパフォーマンス



警固公園等でのパフォーマン

■地図案内サイン など

■都心拠点まちづくりの推進(天神)



■まちめぐりナビゲーション

通り名の 看板設置



■博多の水辺空間魅力創出事業



リバー ピクニック の開催

の実施

で歩きやすい都市空間の実現を図る事業

■道路事業



■白転車対策事業



放置白転車ZFRO宣言

■貼り紙防止事業 など

■自転車駐車場



公園駐輪 施設整備

■都心拠点まちづくりの推進(天神)





■ピンクチラシ・不法看板等除去



不法看板の 除去作業

〇九州・アジア新時代にふさわしい魅力あふれるにぎわい交流拠点都市の実現

- ・天神地区においては、ストリートパフォーマンスや歩行者対象のイベントの開催など、更なるにぎわいの創出とともに、地区の持続的な発展を目指す。
- ・博多駅周辺地区においては、九州新幹線全線開業に伴い、周辺地区を含めたエリアマネジメント組織を中心として、九州の玄関口にふさわしい魅力ある都市拠点の 形成を目指す。
- ・また、その他の地区においても水辺や緑地など地域の特性を生かして、市民や来街者でにぎわうまちづくりを目指す。

〇安全・快適に移動ができる都心部の実現

- ・放置自転車対策については、これまでの取り組みにより主に天神地区で一定の効果を上げているが、今後はその他地区においても同様の取り組みにより、快適な 歩行者空間の実現を図る必要がある。
- ・また、都心部においては、道路のバリアフリー化を図る必要のある路線が多数残っていることから、ひきつづき取り組んでいく必要がある。

〇都心部居住における地域コミュニティの形成

- ・都心部への居住を促す、文化の育成や地域コミュニティ形成への支援を図る必要がある。
- ・渡辺通駅北土地区画整理事業や都市計画道路、生活道路の整備を行い、生活環境の保全・向上を図るとともに、都市機能の集積と充実を図る必要がある。

〇環境と共生する都市の実現(いこい空間の創出)

- ・都心部の緑地保全や温暖化対策など、良好な都市環境の維持、改善を図るとともに、人がやすらげる、いこい空間の創出を目指す。
- ※福岡都心部地区は二期計画を策定することにしており、二期計画において、上記のまちづくり方策に取り組んでいくこととする。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

天神) %	INC BIJ IIE	目標値	<mark>評価値</mark> 14	見込み・確定 の別 確定		1年以内の達成見込み	よる確定値	計測時期	点での達成・ 度	理由	改善策の方向性	総合所見
天神) %	66	41	14	確定								
0/				見込み●	0	なし	13	H20年10月	0		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	自転車駐車場整備や自転車対策 事業などの効果が現れている。
/0	34	27	31	確定 見込み ●	Δ	あり ● なし	25	H20年10月	0			自転車駐車場整備や自転車対策 事業などの効果が現れている。
ī者数 人	63,233	69,000	69,238	確定 ● 見込み	0	あり なし		H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都心部における賑わい創出により、まちの魅力が向上している。
・街」と 割合 [%]	46	56	55	確定 ● 見込み	Δ	あり ● なし		H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都心部における賑わい創出によ り、まちの魅力が向上している。
価 %	54	60	55	確定 見込み ●	Δ	あり なし ●	59	H20年10月	Δ		□ 改善策に補強が必要	まちを美しくする事業を取り組んだ ことにより、都心部の景観が向上し たため、ほぼ目標値を達成した。
	街」と %割合 %	街」と % 46	街」と % 46 56	街」と % 46 56 55	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み 街」と % 46 56 55 程定 見込み 西 % 54 60 55 確定	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み (街」と % 46 56 55 見込み	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み なし おり ● おり ● おり ● おり ● なし あり ● なし あり をし まり なし まり まり を なし まり まり を なし まり まり を なし まり まり を なし まり を ない また また を ない また を な	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み なし おり ● おり ● おり ● おり ● なし あり ● おり ● なし あり もん まん あり もん まん もん もん まん もん まん もん まん もん まん もん	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み	者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み	「者数 人 63,233 69,000 69,238 見込み

事後評価シート 様式2-1及び添付様式6-④から転記 ※全ての指標について記入

*フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップ゜に	計測時期	フォローアップ 時割 点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
	14 保	単位		日保旭	評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み		司 烈时规	度	理由	改善策の方向性	ᆙᇰᆸᄼᆌᅕ
大切他の 地位 地位 1	都心部において、街 がきれいになったと感 じる人の割合	%	-		63	確定 ● 見込み				H 年月				まちを美しくする事業を取り組んだことにより、都心部の景観が向上した。
その他の 数値指標2						確定 見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

¥ 事後評価シート 様式2-1及び添付様式6-④から転記 ※全ての指標について記入 **フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入